

# 庄原民報

2006年7月

日本共産党庄原市委員会

庄原市西本町一丁目4-10  
TEL・FAX 72-3366

# 1日も早い出産医療の再開に 力をあわせましょう

## 6月議会



あなたも しんぶん赤旗を  
ぜひ お読みください  
日曜版は 月800円です

さまざまな生活相談に 無料でとりくんでいます 気軽にご連絡ください



**藤木くにあき (55歳)**  
(庄原選挙区)

TEL 74-1190 FAX 74-0777  
携帯 090-5704-0645

現在/市議会議員(環境建設常任委員)  
家族/妻(看護師)、2女1男、両親  
自宅/庄原市水越町598

藤木くにあきのホームページをぜひご覧ください

市民のくらしを左右する 重要な6月議会。  
私たちは、市民のくらしをまもるため、全力をつくしました。  
ひきつづきあたたかい支援を よろしくお願いいたします。

## 1日も早く 出産医療の再開を

遠くまでの通院・入院は大変です・若いおかあさんの声



県内で、出産医療のないへき地の市は、庄原市のみ。  
全国で、面積が100kmを超える市で、出産医療のないのも庄原市のみ。  
なぜ庄原市だけが、こんなことにならなければならないのでしょうか。市の早急な対応が、よく求められています。

## 都市部に集中している 産婦人科医を

## 過疎地に配置を

産婦人科医は、広島市や呉市、尾道市などの都市部に集中しています。市民の声が高まれば、庄原市に2名の産婦人科医を配置することは可能です。庄原赤十字病院と連携し、県知事、広大病院などへの協力も要請し、1日も早い出産医療の再開に力をあわせましょう。

庄原市では、第2子以降の市外での妊婦検診の負担を軽減するため、第1子を預かる支援事業を始めることになりました。

# 田舎ぐらしの希望者を 庄原市に

藤木議員は6月議会で次の問題もとりあげました。



## 田舎ぐらしの希望者から

### 年間40件の問い合わせ

田舎ぐらし志向の高まりのなか、庄原市に年間40件の問い合わせが寄せられています。

藤木議員も、「これまでに、4件の受け入れを実現しています。その実感から、「希望者はもっと多い」といいます。

田舎ぐらしを誘致するポイントは、空家・農地の確保、農業委員会の許可、登記など、さまざまな手続き、地域の方との人間関係の橋渡しなどを、こまめに援助することにあります。

それを、庄原市が積極的にとりくむべきだと指摘し実行を求めました。

## 教育基本法の改悪に反対を

### 戦前の教育にそのほの

政府は、戦前の軍国教育にさかのぼるような、教育基本法の改悪案を国会に提出しています。そのポイントは、「政府が教育の基本方針を定め、実施を学校に義務づける」というもので、時の政府の価値観を、子どもたちに押しつけようというものです。

市長は、「現行の教育基本法を教育指針として維持する」「戦前の苦い経験があるので」と答弁しました。

## 特養ホームの介護の質の向上を

### 庄原市への苦情は1件

今年、特養ホームの入所者の家族の方から「苦情」が寄せられました。

「苦情」を申し出ること、介護サービスの水準確保に必要なものとして入所者に認められている制度です。

藤木議員は、苦情の内容を具体的に質すとともに、介護サービスの問題点、一連の連携不足などを解決するよう、市の指導をつよく求めました。

藤木くにあきのホームページを開設しています。

アドレスは、藤木くにあき で検索できます。 一般質問の録画など、

ぜひ、ご覧ください。